

3つのセグメントと5つの事業

機能材料事業

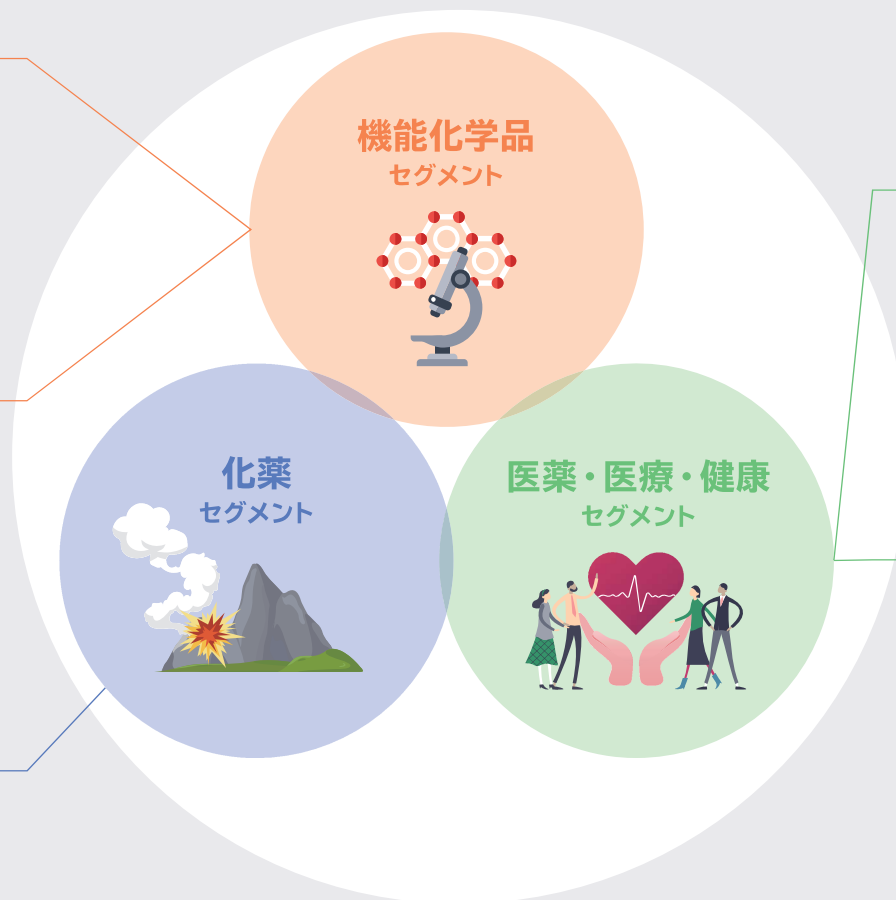
油脂を原料とする各種誘導体や石油化学品を柱として、ライフ・ヘルスケア、環境・エネルギー、電子・情報、それぞれの成長分野へ事業拡大を推進します。

防錆事業

独創的な防錆処理剤を核に、最先端の表面処理技術を蓄積し、自動車部品防錆処理の世界標準に。環境にやさしい表面処理が最優先課題です。

化薬事業

世界有数の総合火薬メーカーとして、最先端のパイロテクノロジーを活用し、産業用爆薬、防衛・宇宙開発、民生品の各事業を推進します。



機能化学品 セグメント



ライフサイエンス事業

技術革新が進むDDS分野を中心に、バイオ医薬品や核酸医薬品の用途向けに機能性の高い素材を開発。また、アイケア、医療用デバイス、診断薬などの分野にも注力します。

機能食品事業

食用油脂の精製・加工技術のパイオニアとして、食用加工油脂と健康関連の事業を展開。機能を基軸とした事業領域へのシフトを進め、食の豊かさ与人々の健康に貢献します。

化薬 セグメント



医薬・医療・健康 セグメント



3つのセグメントと5つの事業

セグメント	2022年度の振り返りと2023年度の予測	売上高構成比	営業利益率構成比	業績推移
機能化学品	化粧品原料の需要が好調に推移したことや、海外向け自動車関連の需要が回復したことによる特殊防錆処理剤の増販、原燃料価格の高騰により販売価格の改定を行ったことから、売上高は大きく成長しました。2023年度は需要回復傾向が続くものの、積極的な戦略投資などによる固定費の増加にともない、営業利益は対前年で1億円の下方と予測しています。	2022年度 1,464億円	2022年度 229億円	<p>(億円) ■ 売上高 ■ 営業利益 (⋯は2025計画値)</p>
医薬・医療・健康	DDS医薬用製剤原料ではコロナワクチン向けおよびバイオ医薬向け需要の拡大により、増益となりました。2023年度はコロナワクチン向け需要が落ち着くものの、バイオ医薬全体の需要は継続。ただし、積極的な戦略投資で固定費が拡大し、営業利益は対前年で15億円の下方と予測しています。	2022年度 409億円	2022年度 180億円	<p>(億円) ■ 売上高 ■ 営業利益 (⋯は2025計画値)</p>
化薬	産業用爆薬類や防衛関連製品、機能製品の売上が減少したものの、ロケット向け製品の出荷増により宇宙関連製品の売上が増加しました。2023年度は、産業用爆薬類の需要増や防衛関連製品の販売増が見込まれます。一方、戦略投資の推進、生産・営業活動の活発化による固定費増加で、営業利益は対前年で3億円の下方と予測しています。	2022年度 298億円	2022年度 17億円	<p>(億円) ■ 売上高 ■ 営業利益 (⋯は2025計画値)</p>